



中国を旅した思い出を描いた博明さんの水墨画

わがまち散歩

自衛官だった博明さんは退官後、水墨画に親しむと、以来描き続けてきた作品は数知れません。また長年、広安小学校で地域学校協働活動に尽力し、児童に絵を描く楽しさを伝えてきました。「友人と訪れた中国の山河の景色をモチーフに描きました」と見せてくれた水墨画は、靈驗あたたかな気配が漂っています。



若い頃の思い出を話してくれた小田さん夫婦

水墨画とパッチワーク 夫婦の小さな美術館

安永神社の近くに暮らす、小田博明さんとシエ子さん夫婦に出会いました。玄関のドアを開けた途端、ギヤラリーと見間違えうほどの空間に驚きます。

今年88歳を迎えた同い年の2人。なれそめは高校時代で、博明さんが生徒会の活動で一緒だったシエ子さんに一目ぼれ。卒業後、博明さんは自衛隊に入隊し、シエ子さんは上京して長唄三味線の名跡として知られた。

心温まる冬まつり

昨年末の12月22日のこと、安永4町内公民館で冬まつりが開催されました。すっきりと晴れ渡った青空の下、子どもから大人まで地域の人たちが集まりにぎやかな雰囲気になっていました。広場では餅つきが行われたり、遊具も設置され子どもたちは元気に飛び回っていました。

4町内区長の岡崎安則さんはその日、サンタクロースに扮して参加者の人気を集めていました。家族連れが目立つ中、本紙令和4(2022)年11月号の表紙を飾ってくれたツイنزの西本芽生ちゃんと菜央ちゃんに再会し、その成長ぶりにびっくり。それもそのはず、かわいい弟の凱星ちゃんが生まれて、二人はすっかりお姉ちゃん顔。パパとママと一緒に、おまつりを楽しんでいました。



安永3・4町内

手がかじかむほどの寒い日が続きますが、霜が降った路傍にホトケノザの花姿を見つけました。一足早く春を告げているようで、思わず笑顔がこぼれます。
今回は安永3・4町内をぶらり。心温まる出会いがありました。



安永4町内冬まつりで餅つきを担当していた皆さん



小さな子どももきねを持ってベッタンベッタンツプや、ダウンジャケットでばっちり決めて、みんなでカメラに笑顔を向けてくれました。

園児との触れ合い 目頭熱くして

お互いが23歳になったころ、満を持して博明さんはシエ子さんにプロポーズ。場所は縁結びの神様で知られる湯島天満宮でした。出会いから70年、初恋を实らせた二人は仲むつまじく支え合いながら、おだやかな日々を謳歌しています。

再びさかのぼって、またまた昨年末のお話。安永3町内公民館では、安永にある空港保育園の園児たちが地域サロンの皆さんに踊りや歌、楽器の演奏などを披露しました。ステージ構成もよく考えられており、石川さゆりさんの「天城越え」のワンフレーズをかわいらしい声で歌ったり、水前寺清子さんの「365歩のマーチ」を取り入れたり、世代を超え一緒になって楽しめる楽曲が随所に盛り込まれていました。ステージ終了後は、年長さんたちと大人たちのスキンシップタイム。握手を求めて園児たちがそばにやってくる、誰もが目尻を下げます。「心温まる時間をありがとうね」と口々に言って、目頭を押さえる人もいました。



上/年長さんたちとスキンシップ。温かい雰囲気に包まれました
右/園児たちの一生懸命なステージを見守る安永地区のサロンの皆さん



空港保育園の園児たちの愛らしい踊りが披露されました



上/黒づくめのファッションがおしゃれな田上さん家族
左/西本さん家族。前列左が菜央ちゃん、右は芽生ちゃん、パパの輝さん、ママの菜摘さん、長男の凱星ちゃん



プレゼント抽選会也大盛り上がりでした